令和８年度

「運営に関する計画」

中間反省

大阪市立佃中学校

令和８年 10 月

（様式１）

大阪市立佃中学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（総括シート）

１　学校運営の中期目標

現状と課題

前年度は、学力においてチャレンジテスト・チャレンジテストplusでは、３年生についてはほとんどの教科が府・平均を前後していたが、２年生については国語と理科、１年生については５教科すべてが府・市平均を上回った。チームティーチングやICTの活用等、生徒の実情に配慮した指導内容の改善を継続していく必要がある。全国体力・運動能力、運動等習慣調査では、男女ともに全国平均を下回り、今後継続した運動習慣の確立を目指す必要がある。

保護者、地域の協力のもと、生徒に寄り添った教職員の実践の積み重ねにより、生徒の規範意識は高く、落ち着いた環境で学校教育活動に取り組めている。一方で、不登校生徒の増加が本校の課題であり、保護者、関係諸機関と連携を取り、模索しながら個々の生徒に寄り添う指導に努めている。生徒の豊かな心の育成のためにも、学校教育活動を通じ、人を思いやる心など自尊感情をさらに高めたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

基本的な方向１　安全・安心な教育環境の実現

１．令和 11 年度の年度目標アンケートにおける、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

２．令和 11 年度の校内調査における、不登校生徒の改善の割合について、令和８年度数値より増加させる。

３．令和 11 年度の校内調査における、「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。

基本的な方向２　豊かな心の育成

４．令和 11 年度の校内調査における、「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。

５．令和 11 年度の校内調査における、「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上

１．令和 11 年度の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。

２．令和 11 年度中学校チャレンジテストにおける、国語・数学の平均正当率の対府比を、いずれの学年も 1.00 ポイント以上にする。

３．令和 11 年度の大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合を 70%以上にする。

基本的な方向５　健やかな体の育成

４．令和 11 年度の校内調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 84%以上にする。

５．令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、1.00 ポイント以上にする。（※全国平均を１とした割合）

６．令和 11 年度の校内調査における、「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

基本的な方向６　教育ＤＸ(デジタルトランスフォーメーション)の推進

１．令和 11 年度の校内調査における、「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

基本的な方向７　人材確保・育成としなやかな組織づくり

２．令和 11 年度末には、時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。

基本的な方向８　生涯学習の支援

３．令和 11 年度の校内調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、68%以上にする。

基本的な方向９　家庭・地域等と連携・協働した教育の推進

４．令和 11 年度の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」に対して、肯定的に答える保護者の割合を、80%以上にする。

２　中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

１．今年度の校内調査における、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。**

２．不登校生徒の改善の割合において、**令和７年度の状況について前年度（35.7%）以上に増加させる。**

３．今年度の校内調査における、「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を 80%以上にする。**

４．今年度の校内調査における、「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。**

５．今年度の校内調査における、「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、70%以上にする。**

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

１．今年度の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 65%以上にする。**

２．中学生チャレンジテストにおける国語・数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、**いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント以上向上させる。**

３．大阪市英語力調査における **CEFR A１レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合を 60%以上にする。**

４．今年度の校内調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。**

５．今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、**前年度（男女ともに 0.96）より 0.01 ポイント以上向上させる。（※全国平均を１とした割合）**

６．今年度の校内調査における、「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。**

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

１．今年度の校内調査における、「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する際に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。**

２．今年度の時間外勤務について、月 100 時間以上実施する**教員の割合を 10%以下にする。**

３．今年度の校内調査における「読書は好きですか」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、前年度（64.6%）以上にする。**

４．今年度の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」に対して、**肯定的に答える保護者の割合を 65%以上にする。**

3　本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

（様式２）

大阪市立佃中学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標１　安全・安心な教育の推進】 **学校園の年度目標** １．今年度の校内調査における、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。** ２．不登校生徒の改善の割合において、**令和７年度の状況について前年度（35.7%）以上に増加させる。** ３．今年度の校内調査における、「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を 80%以上にする。** ４．今年度の校内調査における、「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。** ５．今年度の校内調査における、「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、70%以上にする。**	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容１【基本的な方向１　安全・安心な教育環境の実現】 ・日々の授業および学校行事等の教育活動において、一人ひとりの生徒と教職員が良好な信頼関係の構築を図る。いじめアンケートや学習者端末を活用した相談申告機能等の活用により、生徒が SOS を発信しやすい環境を整備するとともに、教職員が生徒の状況を多面的に把握し、一人ひとりに寄り添った支援体制の構築を図る。 ・命や人権の尊さを道徳、性教育等の授業等、様々な行事や取組を通じて、自尊感情を高め、自身とともに他者も大切できる集団づくりに努める。	B
指標 ・今年度の校内調査における、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。**	
取組内容２【基本的な方向１　安全・安心な教育環境の実現】 ・校内スペシャルサポートルームの活用、および地域や専門的な関係諸機関と連携し、生徒一人ひとりの実情に配慮した支援を組織的に行うことで、不登校生徒の改善の割合を向上させる。	A
指標 ・不登校生徒の改善の割合において、**令和７年度の状況について前年度（35.7%）以上に増加させる。**	

取組内容３【基本的な方向１　安全・安心な教育環境の実現】 ・生徒が主体となる避難訓練を年間２回実施する。 ・生徒会が全校生徒に対して、身近な地域の防災教育を実施する。 指標 ・今年度の校内調査における、「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を 80%以上にする。**	B
取組内容４【基本的な方向２　豊かな心の育成】 ・授業、学校行事、部活動において所属感を感じ、達成感をもてるような取組を実践する 指標 ・今年度の校内調査における、「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。**	B
取組内容５【基本的な方向２　豊かな心の育成】 ・特活、道徳、総合的な学習などで取り組むキャリア教育において、全学年で夢や目標につながるきっかけになるような活動を実施する。 指標 ・今年度の校内調査における、「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、70%以上にする。**	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況

取組内容１について

- ４月、８月の各学期初めに、全校生徒を対象に学級担任との教育相談を実施し、生徒の心理的負担や SOS の早期発見に努めるとともに、生徒一人ひとりとの良好な信頼関係の構築に努めている。
- 毎学期末にいじめアンケートを実施するとともに、学習者用端末の相談機能を通年利用するなどして、いつでも教職員に相談しやすい環境づくりに努めている。
- ５月の連休明けに、全校生徒対象の「いじめについて考える日」および「いのちについて考える日」の取組を行った。また、各学年において平和学習を軸とした人権学習に取り組んでおり、自身とともに他者も大切にできる集団づくりに努めている。

取組内容２について

- 毎学期のスクリーニング会議により、区役所、SSW、SC 等との連携を密にし、一人ひとりの実情に応じた支援を検討、実施している。現在、サテライト（２名）、子ども自立支援アシスト（３名）を利用している。
- 校内に SSR を設置し、不登校生徒の学ぶ環境、居場所づくりに努めている。現在１５名の生徒が利用登録しており、夏休みにも映画鑑賞や卒業生との交流などの取組を行った。
- １学期末に、全校生徒を対象にアセスアンケート（学校適応感尺度）を実施し、その結果を分析し、生徒一人ひとりの実情を配慮した支援を検討するための研修会を夏季休業中に実施した。
- 上記取組の結果、令和７年度の不登校改善の割合は 46.8%で前年度（35.7%）を大きく上回った。

取組内容３について

・ 生徒会執行部を中心に全校生徒に防災イベントの参加を呼びかけ、20 人が参加するなど、生徒が主体的に防災について考えることができるように取り組んだ。また、10 月の文化発表会では、生徒会執行部が主体となり、全校生徒および保護者を対象に防災学習を行った。

・ 西淀川区役所と連携し、2026 年７月に発生した熊本地震の復興支援をおこなう募金活動の企画・運営をおこなうなどして、身近な地域とつながる防災教育を展開した。

取組内容４について

・ 修学旅行、職業体験学習、文化発表会、体育大会などの行事を通して、生徒が主体的に運営することでそれぞれの役割を明確に意識し、所属感及び達成感の醸成に努めた。

・ 生徒一人ひとりの自己肯定感や自己有用感を高めるために、各生徒の良い行いを全教職員で見取って、学年集会や学年通信などにより積極的に発信している。

・ 部活動においては、大阪市部活動指針（プレイヤーズファースト）に基づき、生徒の自主性・主体性を育む指導を行っている。また、学期に１回部長会議を開き、リーダー層の育成にも努めている。

取組内容５について

・１・２年生では外部講師を招き、自分のパーソナリティ特性と行動特性について理解を深めた。２年生では職業体験学習を実施し、３年生では、進路ガイダンスや進路学習の実施において、将来の進路について具体的に考える機会を設定した。

今後の改善点

取組内容１について

取組内容２について

取組内容３について

取組内容４について

取組内容５について

（様式２）

大阪市立佃中学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標２　未来を切り拓く学力・体力の向上】 **学校園の年度目標** １．今年度の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 65%以上にする。** ２．中学生チャレンジテストにおける国語・数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、**いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント以上向上させる。** ３．大阪市英語力調査における **CEFR Ａ１レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合を 60%以上にする。** ４．今年度の校内調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。** ５．今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、**前年度（男女ともに 0.96）より 0.01 ポイント以上向上させる。（※全国平均を１とした割合）** ６．今年度の校内調査における、「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。**	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容１【基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上】 ・学校生活全般（各教科・道徳、総合的な活動、学級活動や委員会活動）において、グループワークを取り入れた課題や活動を積極的に取り入れ、周りの意見を聞き、情報をまとめ、自分の考えを言葉や文章で表現できる機会を作る。	B
指標 ・今年度の校内調査における、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 65%以上にする。**	
取組内容２【基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上】 ・国語科・数学科において、チームティーチングや ICT の活用、および放課後等の時間を活用した学習会により、基礎の定着と学力向上を図る。	B
指標 ・中学生チャレンジテストにおける国語・数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、**いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント以上向上させる。**	

取組内容３【基本的な方向４　誰一人取り残さない学力の向上】 ・英語科において、ＩＣＴの積極的な活用のほか、チームティーチング・分割授業・習熟度別授業を状況に応じて行い、英語でのやり取りや発表を通して、基礎の定着と自己表現力の育成を図る。	B
指標 ・大阪市英語力調査における CEFR Ａ１レベル相当以上の英語力を有する中学３年生の割合を 60%以上にする。	
取組内容４【基本的な方向５　健やかな体の育成】 ・保健体育の授業を充実させ、運動に対する興味関心を高める。体育的行事では、様々な競技を実施し運動に対する苦手意識を払拭させる。昼休みにはボール貸し出しなどを積極的に行い、運動する機会を増やす。	B
指標 ・今年度の校内調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。	
取組内容５【基本的な方向５　健やかな体の育成】 ・保健体育科の授業（体育的行事を含む）を通して体力全般を高め、特に課題である全身持久力、柔軟性の記録を向上させる。スポーツテストの際には、全国平均を明記し、生徒自ら目標を明確に設定し、その目標を超えられるようにペア学習などを用いて実施させる。	B
指標 ・今年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、前年度（男女ともに 0.96）より 0.01 ポイント以上向上させる。（※全国平均を１とした割合）	
取組内容６【基本的な方向５　健やかな体の育成】 ・「ほけんだより」の発行や食育などにより規則正しい生活習慣の重要性を改めて考えさせる。また、衛生委員会等の活動で生徒主体での取組を通して自分自身の課題に気づき、改善する自己管理能力を身につけられるように指導する。	B
指標 ・今年度の校内調査における、「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況

取組内容１について

・学校生活全般において、ペアワークやグループワークによる対話的な活動を多く設定し、お互いの考えを共有することで自分の考えを確認したり深めたりしている。

・学習者用端末の活用により、プレゼンテーション資料を作成して自分の考えや意見を発表する機会を設定している。

取組内容２について

・国語科、数学科において、全学年でチームティーチングを実施している。

取組内容３について

・英語科において、全学年でチームティーチングを実施し、３年生では分割による習熟度別授業を実施している。
・ICT を積極的に活用して、授業だけでなく家庭学習においても学習者用端末を用いた調べ学習や音読学習・反復練習を実践した。

取組内容４について

・昼休みにはボール貸し出しなどを積極的に行い、運動する機会を増やしている。

取組内容５について

・スポーツテストの際に、全国平均を明記し、生徒自ら目標を明確に設定させた。その目標を超えられるようにペアの声掛けなどを意識させた。

取組内容６について

・ほけんだよりの発行により、規則正しい生活習慣の重要性を発信するとともに、10 月の文化発表会では、生徒衛生委員会が感染症の予防について発表するなど、生徒主体で取り組んだ。

今後の改善点

取組内容１について

取組内容２について

取組内容３について

取組内容４について

取組内容５について

・日々の補強運動やストレッチを充実させて、体力及び柔軟性の向上に努める。

取組内容６について

（様式２）

大阪市立佃中学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標３　学びを支える教育環境の充実】 **学校園の年度目標** １．今年度の校内調査における、「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する際に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。** ２．今年度の時間外勤務について、月 100 時間以上実施する**教員の割合を 10%以下にする。** ３．今年度の校内調査における「読書は好きですか」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、前年度（64.6%）以上にする。** ４．今年度の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」に対して、**肯定的に答える保護者の割合を 65%以上にする。**	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容１【基本的な方向６　教育ＤＸ(ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ)の推進】 ・日々の生活指導に加えて、道徳・特別活動等において、情報リテラシー、および情報モラル教育に取り組む。	B
指標 ・今年度の校内調査における、「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する際に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、**肯定的に回答する生徒の割合を 60%以上にする。**	
取組内容２【基本的な方向７　人材確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ICT 機器を活用して、成績処理、提出書類等事務作業の効率化を進める。SSS の協力により印刷業務等の効率化を図り、業務時間の短縮を推進する。 行事･会議等を、簡略化及び廃止を含めて見直しを進める。	B
指標 ・今年度の時間外勤務について、月 100 時間以上実施する**教員の割合を 10%以下にする。**	
取組内容３【基本的な方向８　生涯学習の支援】 ・生徒にとって魅力ある本が読める環境を作り、学級文庫などを設置し、朝の読書の時間を充実させ、図書館ニュースを月一回発行し、啓発する。	B
指標 ・今年度の校内調査における「読書は好きですか」に対して、**肯定的に答える生徒の割合を、前年度（64.6%）以上にする。**	

取組内容４【基本的な方向９　家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 ・ホームページなどで地域や家庭に、学校生活や行事などの活動や成果を発信する。 指標 ・今年度の保護者アンケートにおける「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」に対して、**肯定的に答える保護者の割合を 65%以上にする。**	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況

取組内容１について

・４月には KDDI 株式会社より外部講師を招き、１年生対象スマホ SNS 安全講話を実施した。

・11 月にも大阪弁護士会より「SNS を介した犯罪防止　弁護士出張授業」を全校生徒対象に行う予定である。

・上記取組を通じ、生徒一人ひとりの情報リテラシーを高め、様々なトラブルの未然防止に努めている。

取組内容２について

・ICT 機器及び SSS を有効活用している。

月 100 時間以上実施する教員の割合：平均１％（４月～９月）

学校閉庁日　６日間（夏季４日　冬季２日）

ノー部活デー　３日間

取組内容３について

・毎月図書館ニュースを発行し、図書室には企画コーナーや、新聞記事などから切り抜いた本の掲示板なども設置している。

・毎月の生徒専門委員会で文化委員会による推薦図書の POP 作成や、学級文庫の入れ替えを行っている。

・２学期中に、100 冊程度の蔵書拡充を予定しており、読書活性化を進めるために図書館環境充実に努めている。

取組内容４について

学校ホームページにより、学校生活や行事などの様子を積極的に発信している。

今後の改善点

取組内容１について

取組内容２について

取組内容３について

取組内容４について